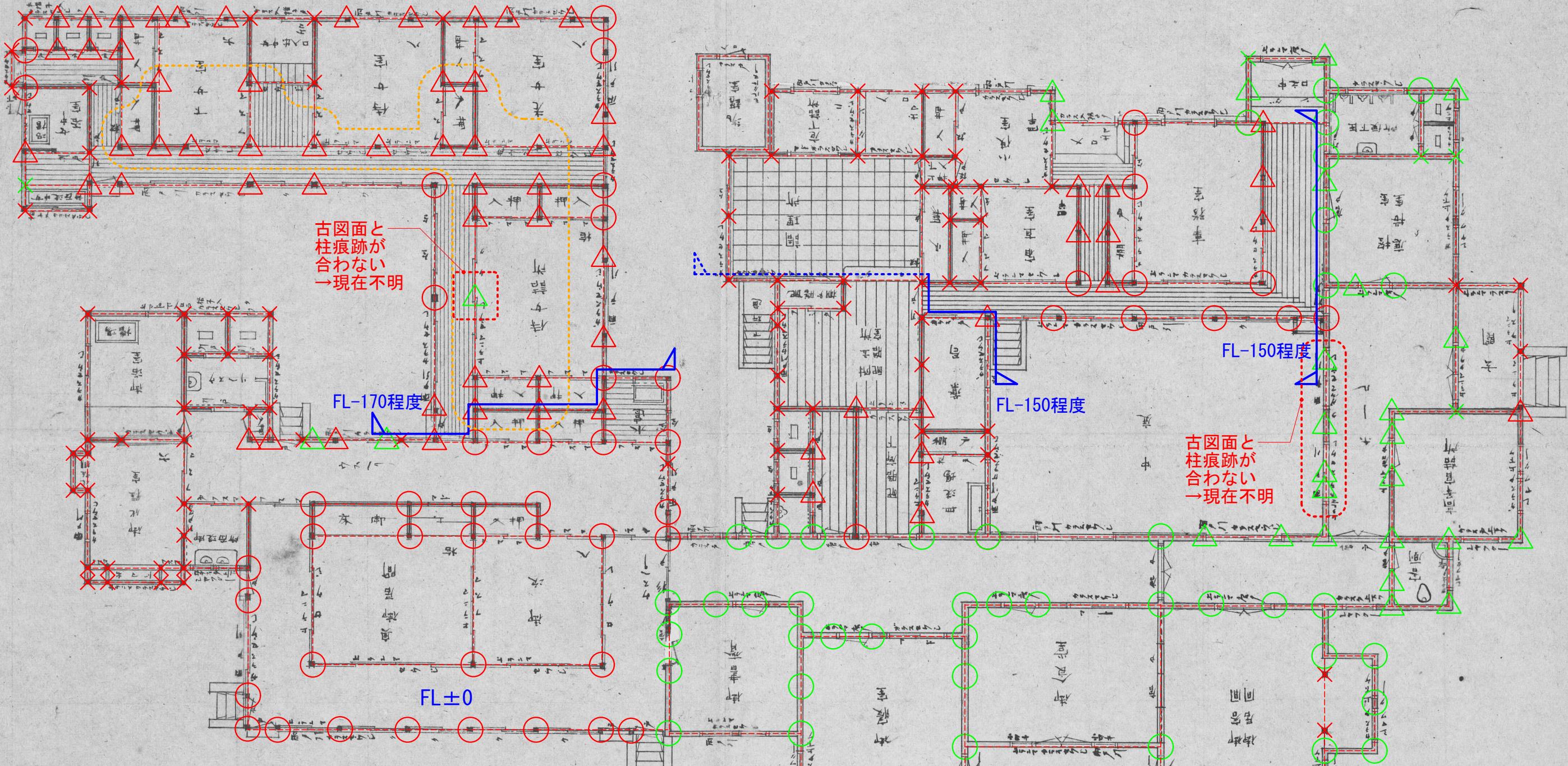


資料2-4 <旧滄浪閣(伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)>(旧李王家別邸) 柱残存状況図(古図面に記載)



凡例

古図面に記載される柱

○：現存する推定当初柱

△：存在した痕跡が残る推定当初柱

×：柱も痕跡も目視確認できない柱

古図面に記載されない柱

○：現存する推定当初柱

△：存在した痕跡が残る推定当初柱

×

：柱も痕跡も目視確認できないが納まり上、

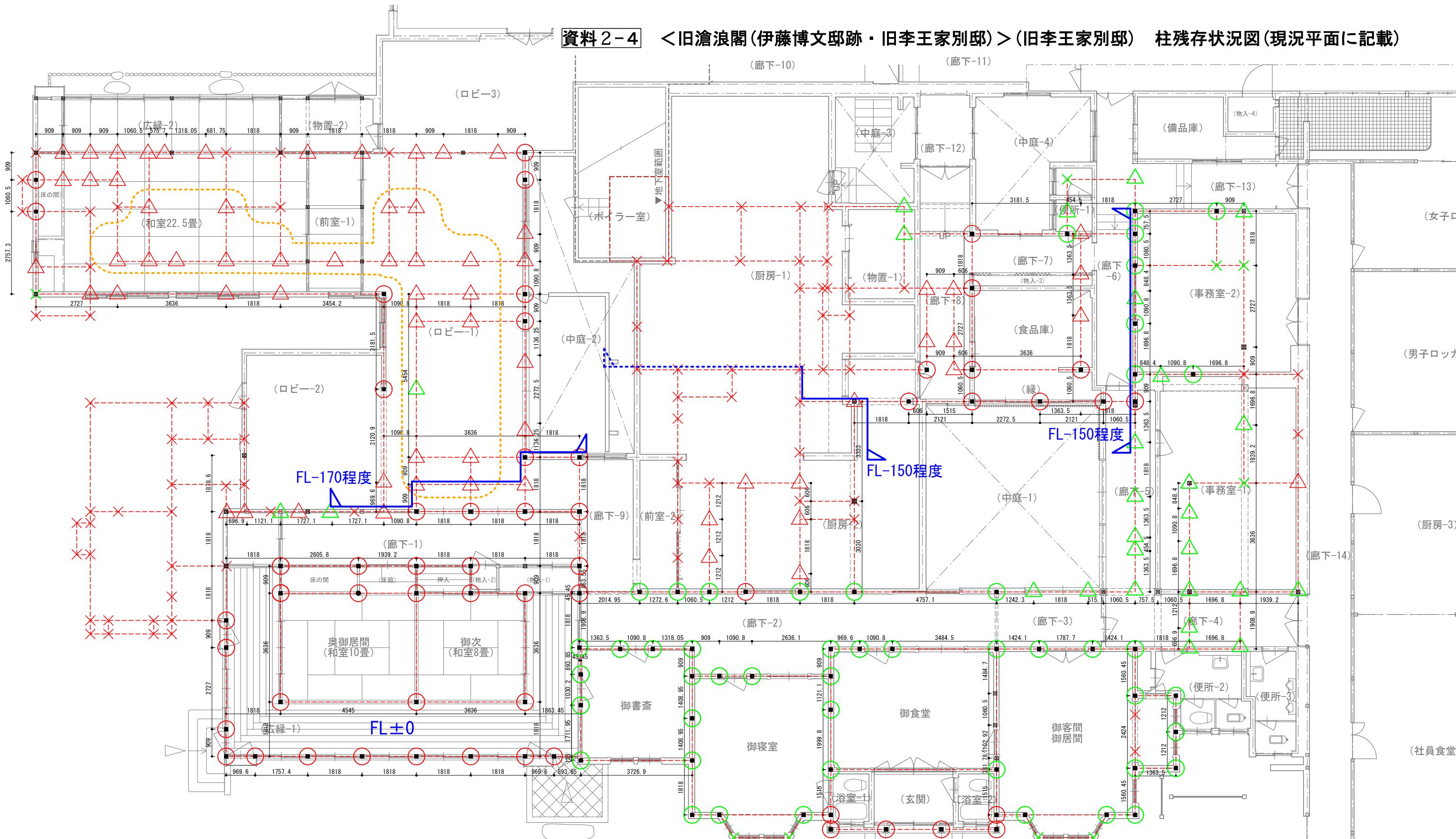
存在していたことが明らかな柱

：土台上に飼木し、柱脚レベルをあげている推定当初柱(詳細は資料3-6床組改変状況図参照)

：床レベル切り替え位置(点線は推定)

※ ----- は、古図面及び現地調査で推定される当初間仕切線とする

資料2-4 <旧滄浪閣(伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)・(旧李王家別邸) 柱残存状況図(現況平面に記載)



凡例

古図面に記載される柱

- : 現存する推定当初柱
- △ : 存在した痕跡が残る推定当初柱
- ✗ : 柱も痕跡も目視確認できない柱
- : 現存する推定当初柱
- ▲ : 存在した痕跡が残る推定当初柱
- ✗ : 柱も痕跡も目視確認できないが納まり上、存在していたことが明らかな柱

古図面に記載されない柱

□ : 後補柱

：土台上に飼木し、柱脚レベルをあげている推定当初柱
(詳細は資料3-6床組改変状況図参照)

：床レベル切り替え位置(点線は推定)

* ----- は、古図面及び現地調査で推定される当初間仕切線とする

north
west
east
south

UP